



小学5年生と2年生の息子
子育てに日々奮闘中!

vol.5

富永あけみ通信



2019年1月発行

市政報告

佐賀市議会議員
社会市民クラブ

平成最後の年明けを皆さまどのような気持ちで迎えられたでしょうか。

昨年は明治維新150年の節目の年でもありました。先人たちに学んだのは「チャレンジする精神を忘れない」ということです。なにかに

チャレンジするのに年齢は関係ないと私は思います。新しい時代の幕開けとなる今年。どんな時代が待っているのか、どんな時代にしていくのか、ワクワクする気持ちを持ちながらチャレンジしていきたいと思います。

平成30年11月定例会 ピックアップ

提出された16議案の内15議案を可決。
第116号議案「佐賀市健康運動センターの指定管理者の指定について」は否決されました。

これまでの3社に加え、新たに構成員となるサガス

11月補正予算総額・・・約9億6,000万円
補正後の予算総額・・・約1,010億5,300万円
(前年度同時期比: 5.1% 増)

ポートクラブに対し、経営状況が安定しておらず、診断結果では多くの問題点が指摘され、全会一致で否決されました。

主な事業

保育所等業務効率化
推進経費…2,306万円

保育所等における保育士の業務負担軽減および乳幼児の事故防止に向けたICT導入等に要する経費。

※ICT…「Information and Communication Technology」の略
「情報通信技術」のことです。

路線バス誘客事業 …24万円

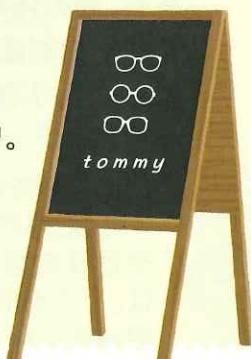


市内の中学3年生に対し「路線バスお試し券付利用促進チラシ」を配布するための経費。150円券×2枚が3月上旬を目途に学校を通して生徒たちに配布されます。対象となるバス会社は市内を走る市営バス、祐徳バス、昭和バス、西鉄バスの4社です。



※よい子はまねしないでね（店員さんがびっくりします）

先日のこと。度数が合わなくなった長男を連れてメガネ屋さんに。カウンターに置いてあったハズキルーペに気付いた息子達はおもむろに手に取り椅子の上へ。
すかさずCMと同じように座ってみせたのでした。
これには店員さんもビックリ。
私もビックリしました…。
ちなみに、
さすがはハズキルーペ。
壊れませんでしたけど。





児童虐待について

昨年3月、東京都目黒区でおきた5歳の女の子が両親に虐待され死亡した事件は悲痛な気持ちになった方も多いと思います。今、全国的に児童虐待が増えており、厚生労働省が発表した平成29年度の児童相談所での児童虐待相談対応件数は、133,778件と過去最高を更新しました。これは全国のみならず、佐賀市においても早急に取り組むべき課題として考えていく必要があると思い、今回は「児童虐待」について取り上げました。

H10年度 6,932件

H20年度

42,664件

H29年度

133,778件



【全国の児童相談所における児童虐待相談対応件数の推移】

富永の考え方
一問一答

1

佐賀市においても相談対応件数が増加しているが、その要因をどのように考えているか。

児童相談所全国共通ダイヤル「189(いちはやく)」が普及し、児童虐待防止の研修やワークショップ等を行ったことにより、市民や関係機関の意識が向上したため、今まで以上に子どもの様子で気になることをお知らせいただけるようになった、と答弁。

2

平成28年の児童福祉法改正により、子どもの目線に立った対応が基本とされ、「妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援」が市町村に求められているが佐賀市の現状は。

母子保健事業として、健康づくり課が妊婦検診や乳児全戸訪問、乳幼児健診を実施。また家庭児童相談室や要保護児童対策地域協議会と連携し、切れ目ない支援を行っている、と答

法の理念

「大人目線」→「子ども目線」へ

業務内容

県と市町村の役割が明確になり、支援のための拠点の整備を市町村が務めることに。

【児童福祉法改正により「子どもが権利の主体」へ!】

3

虐待を把握した場合、具体的にどのように対応しているか

佐賀県の児童相談所と役割を分担して対応。児童の所属機関に出向いて定期的に情報収集に努めている。また、未就園児や不就学児については、児童の状況を確認し、医療助成の情報や母子保健

サービス等の利用実績を調査し場合によっては家庭訪問等を行い子どもの安全を確認している、と答弁。

4

児童福祉法改正に伴う業務量の増加、また、日常的な相談件数の増加に加え、目黒区女児事件を受けて厚労省が進める「児童虐待防止対策の強化に向けた緊急総合対策」の実践など、業務量は増える一方である。今の体制では、本当に困っている方々に対して適切な対応ができなくなるのでは?専門性の強化をはかり専門職を増やすべきと考えるが。

まずは、子どもの安全確認と再発防止を最優先に対応している。児童福祉法改正により努力義務とされた「子ども家庭総合拠点」の設置に向け、先進自治体の視察や設置状況の研究を行っている段階である。求められている専門職については平成28年以降増えていない状況であり確保に向け努めたい、と答弁。

ま
と
め

児童虐待に関しては複合的な課題もある。

今回、専門性の強化・専門職の増員を訴えたが、やはり初期対応や窓口体制づくりが大切なのは。そこを的確に押さえることで色々な問題点も明らかになり適切な支援に繋がっていくと思う。

子どもたちは未来を作り出す存在である。すべての子どもたちは、適切な養育を受け、健やかな

成長、発達や自立が図られることなどを保障される権利がある。児童虐待で亡くなった子ども達の死を無駄にしないためにも、そして、これ以上生まれてきた命を無駄にしないためにも、その入口である適切な窓口の体制づくりに努めていただきたいと訴えました。



市職員の働き方改革について

富永の考え方と質問



昨年、国会では「働き方改革関連法案」が可決されました。これを受け、佐賀県内の民間企業でも約7割が働き方改革に取り組む意向を示しています。この流れは行政として市民に向き合う市職員も例外ではありません。厳しい財政状況で職員数は減り続けており、各部署においても余裕のなさを感じるところです。良好な人間関係や円滑なコミュニケーションは大切ですし、仕事に対するやる気やモチベーションを向上させるための取り組みが必要だと感じます。

その結果、施策の質や市民サービスの向上へと繋がっていくとともに、行政が率先して取り組むことによる民間企業への波及効果も期待されます。これらを踏まえ、佐賀市としての見解を質問しました。

執行部の答弁

各職場の状況は把握しており、余裕のなさも感じている。しかし、財政状況をみると職員を増やすことは難しい。

A.I等を活用した事務の効率化や事務事業の整理も必要と考える。また、円滑なコミュニケーションは非常に重要だと認識しており、各階層の研修のテーマに盛り込んでいる。昨年度からは新規採用職員研修にも追加した。

モチベーション向上への認識も同様であり、ワークライフバランスや働き方改革の実現に向け、誰もが働きやすい職場環境づくりや、様々な研修を実施することにより職員個々のモチベーションの向上にも努めていきたい。

旧富士小学校体育館改修問題について

総務委員会

平成30年9月定例会において、決算議案が全会一致で「不認定」となったこの問題。本来、議会に報告・説明すべき内容が一切なされていなかつたこと、その後の調査でも説明内容が二転三転し、経緯や理由が不透明であること、非常に短い期間で事業を進めたことにより事務に不備が生じたこと、など多くの問題があったため、佐賀市議会で初めて決算議案が「不認定」となる結果になりました。

これを受け総務委員会では、全体像を明らかにし、問題点・改善点を調査するため所管事務調査が行われています。11月定例会閉会日には委員長より中間報告がなされ、「市民の大きな不信感を招いていること、議会との信頼関係を大きく損ねていること、佐賀市の業務遂行に大きな影響を与えていることを重く受けていただき、二度とこのような事態が起きないよう、原因究明と対策に努めていただきたい」との発言がありました。

なぜこうなったのか、その背景に何があったのかをしつかり追及し、信頼を取り戻すべく透明性のある佐賀市となるように議論していきたいと思います。



旧富士小学校体育館改修問題とは？

社会人バスケットチームの練習場として、市議会に説明も報告もなく、旧富士小学校体育館が改修された問題。約3,100万円が流用され、昨年9月定例会での決算審査を全会一致で不認定とした。



【活動報告】

2018年10月～12月

10月

- 1日 総務委員会旧富士小学校体育館現地視察
- 2日 総務委員会
- 佐賀市表彰式
- 3日 人口減少問題等に関する講演会 Part 1
- 5日 9月定例会閉会
- 全員協議会
- 5～7日 第37回地方自治研究全国集会



高知市で開催された地方自治研究全国集会に参加しました。人口減少社会をどう生き抜くか、また、AIとこれからのお公共服务のあり方にについて講演を受けました。

- 9日 佐賀県地方自治問題研究所第12回定期研究会
- 10日 第74回佐賀市職労定期大会
- 12日 兵庫町交流パークゴルフ大会
- 14～15日 政策勉強会
- 16日 徳光きよたか選対会議
- 17日 人口減少問題等に関する講演会 Part 2
- 議会広報公聴委員会
- 18日 佐賀県労働会館第7回評議員会
- 20日 2018年度県本部書記評議会総会
- 21日 藤木自治会河川清掃
- 親睦パークゴルフ大会
- 防災訓練
- 22日 10.21国際反戦デー佐賀地区集会
- 23日 2018賃金確定闘争合同総決起集会
- 26日 平成30年度「差別の現実に学ぶ研修会」
- 27日 兵庫町Let'sハロウィン



兵庫まちづくり協議会めばえ部会主催のハロウィン。
今年もたくさんの参加者で盛り上がってました。

- 28日 徳光さつき会総会
- 佐賀商業高校同窓会鰐門会
- 29日 議会広報公聴委員会
- 30日 「ガーデンテラス佐賀」竣工祝賀会
- 2018サガ・ライトファンタジー点灯式
- 31日 2018佐賀インターナショナルハーランフェスタ開会式
- 31～11月 自治体議員連合全国学習会

11月

- 2日 「佐賀城下秋の骨董市」オープニング式典
- 総務委員会
- 第13回連合佐賀東部地協定期総会
- 兵庫町少年の主張大会
- 11日 兵庫町民文化祭・農業祭り
- 兵庫小学校フリー参観
- 佐賀市総合防災訓練



今年は本庄公園で地域住民の皆さんや様々な防災活動期間が集まり開催されました。日頃からの備えと防災意識の向上が大切です。

- 12～13日 佐賀市森林・林業活性化促進議員視察



熊本県小国町では小国杉の活用について、大分県日田市では木質バイオマス、福岡県東峰村では九州北部豪雨の被害状況についてお話をうかがいました。

11月

- 14日 総務委員会
- 佐賀広域消防職員協議会第19回定期総会
- 16日 藤木花壇花植え替え
- 藤木天満宮しめ縄作り
- 第55回護憲大会
- 議員研修
- 佐賀市バイオマス教室
- 議員団会議
- 総務委員会
- 総務委員会
- セミナー「地域における拠点や場のもつ力」
- 連合佐賀政治学習会
- 藤木天満宮清掃
- 第26回佐賀県青春寮歌祭
- 日本大学佐賀支部総会
- 徳光きよたか選対事務局会議
- 総務委員会
- 議案勉強会
- 徳光きよたか選対中部発足
- 総務委員会
- 11月定例会開会

12月

- 1日 幕末佐賀藩近代化シンポジウム
ひょうたん島収穫祭
- 藤木天満宮神事
- 2日 博愛フェスタ
- 佐賀市少年の主張大会
- 3日 総務委員会
- 4日 労福協要請行動
- 5日 議員団会議
- 7日 総務委員会
- 整肢学園労組定期大会
- 富永あけみ一般質問



議会ごとに一般質問に立つことを目標にしており、今回で5回目となりました。行政への疑問や提案を声として届けています。

- 13～14日 総務委員会
- 17日 総務委員会
- 18日 地方自治講演会
- 19日 徳光きよたか県政報告会
- 20日 本会議(閉会日)
- 総務委員会
- 24日 夢フェスタひょうご2018
大財藤木線の開通を祝う会



平成22年から着手され平成26年から通行止めとなっていた佐賀市の南北を結ぶ都市計画道路「大財藤木線」が開通しました。

- 26日 総務委員会
- 29日 消防団年末警戒

発行元：富永あけみ



連絡先：〒849-0919 佐賀市兵庫北2-1-10
TEL/FAX 0952-77-9307
E-mail tominaga-akemi@po3.bunbun.ne.jp

ご意見・ご要望は上記連絡先までお願ひいたします。